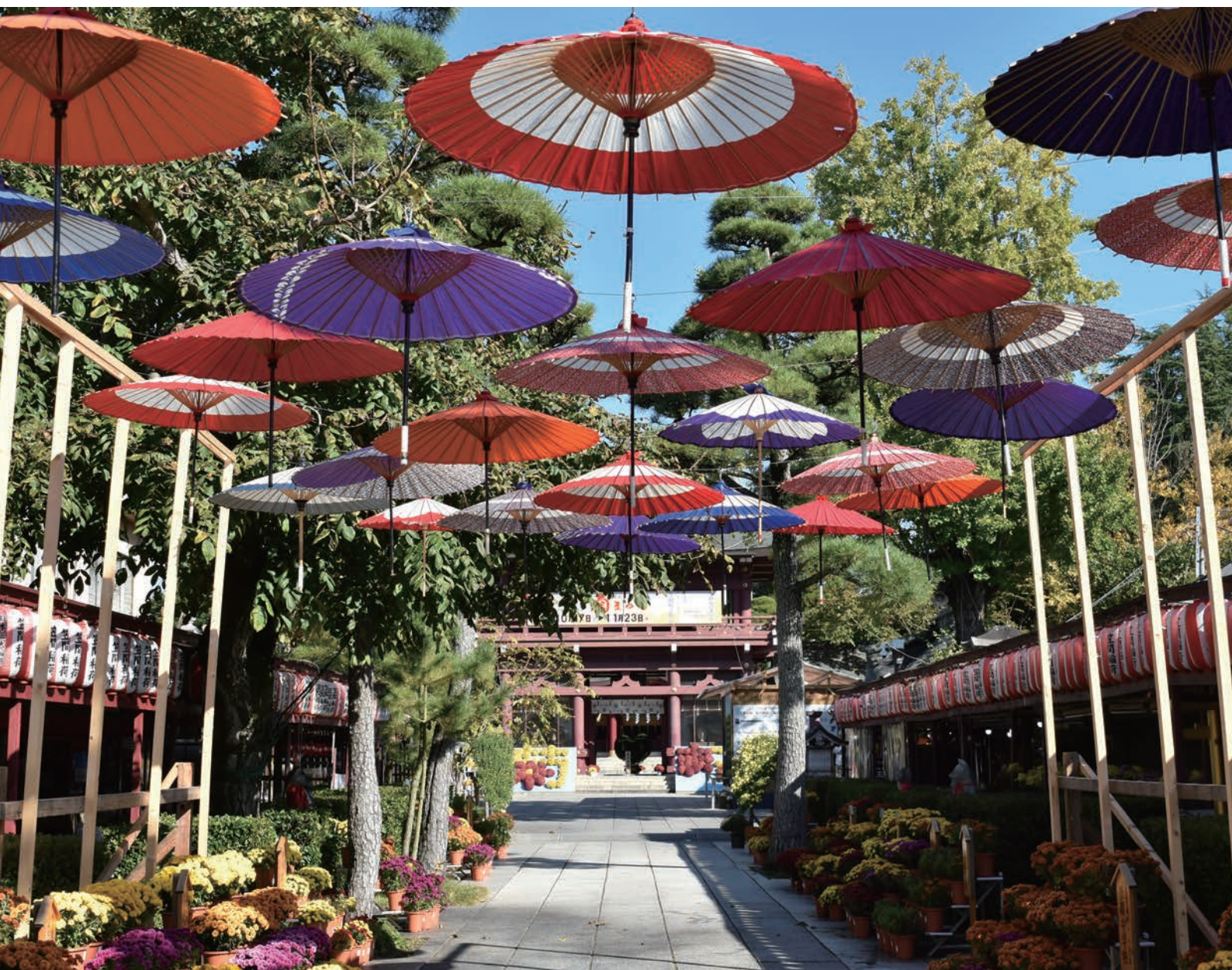


正月祈禱のご案内

第1回 胡桃下の素敵なお店



ごあいさつ

静岡県熱海市で発生しました大規模な土石流や列島の各地を襲った記録的豪雨による河川の氾濫、家屋の浸水、土砂災害に被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。

また、深刻な事態をもたらしている新型コロナウイルスの感染拡大は依然として厳しい状況下にあり、長期に亘り行動抑制の要請が続いていますが、早く収束して活気に満ちた日常生活を取り戻せるように切に願っております。

さて、昨年笠間焼は益子焼と共に日本遺産に認定されました。これを記念して笠間稲荷美術館では特別展「笠間焼き物語」を開催し、多くの方々に鑑賞していただき、好評を博しました。

当美術館は先代宮司が笠間焼という伝統文化の保存と、地域の窯業振興、人々の生活の質的向上に寄与していくことを目的に開館したもので、この宗旨は誠に喜ばしい限りでございます。九ちゃんの愛称で親しまれた歌手の坂本九さんは笠間焼をとても好まれ、ご参拝後は焼き物作りを楽しんでおられましたことがなつかしく思い出されます。

笠間焼は江戸中期に始まりました。江戸時代は稲荷信仰がいち段と高まり、広がりを見せた時代で、歴代の笠間藩主はいずれも笠間稲荷を篤く信仰して、社地社殿を拡張したり、祈願所として定めて境内地や祭器具などを寄進しています。焼き物の生産については藩の保護奨励の下で振興が図られていきました。

日本遺産は地域の魅力あふれる文化財群を一つのストーリー

でつないで、日本の再発見をするために文化庁が認定する制度です。笠間と益子がたどってきた歴史「かさましこー兄弟産地が紡ぐ焼き物語」が高く評価されての認定となりました。

「かさましこ」は当笠間市と隣接する栃木県の益子町の焼き物に関連する文化財群で構成され、その中の一つに笠間稲荷神社の御本殿が含まれています。日本遺産の一部となっている当社の御本殿にもたくさんのお物語性が感じられます。

ペリーの来航を機に日本は開国に転じ、日米修好通商条約を締結し、その批准のために笠間藩出身の小野友五郎を航海長とする咸臨丸が太平洋を横断しようとしていた時代に、笠間稲荷神社の御本殿が再建され、当時の名匠たちによる彫刻が施されました。蘭亭曲水の図、三頭八方睨みの龍、牡丹唐獅子などで国の重要文化財に指定されています。神様がお鎮まりになっておられます本殿と、ご参拝者がお参りをされます拝殿は石の間と呼ばれる、神前にお供え物をする幣殿でつながっている権現造となっています。この建築様式は平安時代から見られますが、豊臣秀吉の豊国廟や東照大権現（徳川家康）を祀った東照宮が採用して以来多く用いられ、権現造と言われるようになりました。秀吉も家康も稲荷社を厚く庇護したことで知られています。

中国の書聖、王羲之は蘭亭に名士たちを招いて曲水の宴を開きました。上流から流れてくる盃が自分の手前に来るまでの間に歌を詠み、お酒を飲んだ後に、次の者に流す風雅な遊びです。和歌は当社の御祭神、宇迦之御魂神の父神である須佐之男命が日本で初めて詠まれたもので、お酒は神前にお供えするものです。笠間稲荷の大神様が食物を司る命の根の神様であることを考えますと、曲水は山から流れて来る川で、田を潤し、豊作を

もたらしてくれるご神徳を象徴しているものとも読み取れます。
書は御祭神に奏上する祝詞や、お札の仕立て、御朱印の際にも
王羲之^{おうぎし}のような達人に倣い、心をこめて丁寧^{ていねい}に書き上げていき
ます。

龍は神を守護するものとしてあらゆる方向に睨みをきかせて
いますが、空を飛んで雲を起こし、雨を降らせることから本殿
を火災から守ることもしています。当社は火伏せの神としても
信仰されていますし、水は稲を育てるのにも、また、飲み水と
しても命を支える大切なものです。中国では、龍は皇帝のシン
ボルであることから、稲荷大神様の正一位という最高位の神階
を象徴しているようにも思われます。

獅子も百獣の王として聖域を守護しますし、牡丹は大輪の花
を咲かせ、百花の王として神前に飾られます。花言葉は高貴で、
丹は赤を意味します。稲荷神社の鳥居は生き生きとした生命力
を表す赤色で、魔除けの色にもなっています。

優れた測量技術を持って海を渡った小野は勝海舟や福沢諭吉
をしのご働きをしたと評価されていますが、おそらく幼少の頃
より学問の向上を願う当社にお参りをしていたことでしょうし、
海は禊ぎをする場でもあり、後に製塩業を起こしていますが、
塩はお清めや神事に関わりがあり、深いご神縁が感じられます。
ご参拝者の皆様には、御本殿の精巧を極めた彫刻自体の素晴
らしさに加えて、霊験あらたかな大神様にまつわる様々な物語
性を味わい、鑑賞していただければと思っています。

笠間稲荷神社 宮司 塙 東男



御本殿



蘭亭曲水の図



三頭八方睨みの龍



牡丹唐獅子

彫刻を手がけた三人の名匠

後藤 縫之助(ごとう めいのすけ)
弥勒寺 音八(みろくじ おとはち)
諸貫 万五郎(もろぬき まんごろう)



日本遺産

JAPAN HERITAGE

祭事予定

令和三年 十月

十七日 神嘗奉祝祭

二十一日 尚齒祭

二十三日 菊まつり開場式

令和三年 十一月

三日 明治祭

十五日 霜月祭

二十三日 新嘗祭・献穀献繭祭

感染症予防の為、神事流鏑馬は斎行見送りとなりました。また境内密集回避の為、笠間示現流居合抜刀術奉納、大和古流奉納も中止となりました。

新嘗祭・献穀献繭祭

「新嘗祭（にいなめさい）」は、宮中においてその年の新穀を神々に供えると共に、天皇陛下がその年の新穀を初めて召し上がられる祭典です。全国の各神社においても新穀を神前に供え祭祀が行われます。当社では、「献穀献繭祭」と称し、新穀、新繭が神前に供えられる他に、献穀品、献繭品の品評会を実施しております。

令和三年 十二月

二十二日 御火焚串炎上祭

二十八日 鹿島祓

三十一日 大祓式

御火焚串炎上祭

御火焚串という木製の板に、参拝者自身が住所・氏名・願事などを記入し神前に奉納したものを火の霊力によって罪穢れを祓い、願意成就・無病息災・除災招福を祈願します。毎年冬至の日に積み上げた御火焚串に点火し、御火焚串炎上祭を斎行致します。

御火焚串は境内にて授与しております。

（初穂料五百円）



令和四年 一月

一日 歳旦祭

三日 元始祭

五日 祈始祭

七日 昭和天皇祭遙拝式





- 十日 初事比羅祭〔大黒天〕
- 十四日 尖閣諸島安全祈願祭
- 十五日 古札炎上祭〔特設会場〕
- 十六日 初甲子祭〔大黒天〕
- 二十二日 御本殿畳奉納奉告祭
- 二十五日 初天神祭〔菅原神社〕
- 三十一日 旧大祓式

令和四年 二月

- 一日 旧歳旦祭
- 三日 節分追儺式
- 七日 北方領土返還祈願祭
- 八日 針供養祭
- 十日 初午大祭
- 十一日 紀元祭
- 十四日 祈年祭・初穂講大祭
- 二十三日 天長祭

令和四年 三月

- 六日 旧初午大祭
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式
- 中旬 絵馬祭・絵馬炎上祭

令和四年 四月

- 三日 神武天皇祭遙拝式
- 九日 例大祭
- 二十九日 昭和祭

令和四年 五月

- 十日 御田植祭〔御神饌田〕
- 下旬 講社大祭

御田植祭

稲荷神社御神饌田において、古式ゆかしく御田植祭を斎行します。

その年の豊穣を祈願するとともに、稲荷の大神様に毎日御供えする御米^{みけ}を栽培する稲苗の植付けの神事であり、この祭典は当社では由緒ある重儀として厳修しています。

令和四年 六月

- 下旬 車の茅の輪くぐり〔外苑駐車場〕
- 三十日 夏越の大祓
- 茅の輪くぐり



※感染症の拡大状況によって祭典の斎行や内容に変更が生じる場合がございます。ご不便をおかけいたしますが予めご了承ください。

新型コロナウイルス感染症に関するご報告と 感染拡大防止対策協力をお願い

昨年より新型コロナウイルス感染症が世界的規模で蔓延し、祭事の斎行や御崇敬者の皆さまを迎えるにあたり様々な変更や感染症対策が求められました。当社ではご来社の皆さまの安全と感染拡大防止の為、次の通り祭事の変更や縮小斎行、やむを得ず斎行見送りと致しましたことをご報告申し上げます（令和二年十一月～令和三年十月迄）。

令和二年	十一月二十三日	献穀献蘭祭 招待規模縮小・直会 及び献穀献蘭品評会表彰式中止
	十二月三十一日	師走の大祓 直会中止
令和三年		
二月	二日	節分追儺式 神職のみで斎行 撒豆行事中止
二月	十四日	初穂講大祭 招待規模縮小・直会中止
三月	下旬	絵馬祭・絵馬回収行列・絵馬コンクール中止
四月	九日	例大祭 献香・献茶・献華・野点の 奉仕中止 直会中止
五月	十日	御田植祭 招待規模縮小・直会中止・ 歌姫の奉仕中止・舞姫は奉告祭（社 殿）にて奉仕
五月	十七日 十九日	本宮祭 直会中止
六月	三十日	夏越の大祓 直会・蕎麦の振る舞い中止
九月	二十三日	小笠原流三三九手挟式中止
十月	二十一日	尚齒祭 招待中止
十月	二十三日	笠間の菊まつり 規模縮小
十月	二十八日	講社大祭 斎行見送り

令和三年正月は境内での密集を避けるため分散参拝を呼びかけると共に、境内各所消毒抗菌作業、回廊臨時授与所に飛沫防止シートを設置し、奉仕者はマスク（手袋）を着用、参道では間隔をあけた立ち位置の目安を表示、おみくじ所に手指消毒液を準備する等の対策を実施しました。皆さまのご理解ご協力を賜り、三が日の参拝者数は例年の四割程度の人出となり、境内の大幅な混雑は見られませんでした。

また境内・社務所における感染症拡大予防のため引き続き次の通り対策を行っております。

- ・ 手水舎の柄杓撤去
- ・ 各所に手指消毒液の設置
- ・ 祈禱受付所・授与所に飛沫防止シートを設置
- ・ 職員マスク着用にて奉仕
- ・ 来社時マスク着用協力及び最少人数でのご来社協力の呼びかけ
- ・ 崇敬者用下足箱の使用中止
- ・ 祈禱待合室スペース拡大
- ・ 拝殿内の崇敬者着席スペース拡大
- ・ 祈禱後の御神酒提供、直会膳提供の中止
- ・ 建物内換気の励行
- ・ 境内喫煙所（灰皿設置場所）の縮小
- ・ 間隔を空けた参道待機列用シール貼付
- ・ 御朱印直接記帳の停止、御朱印紙頒布対応（正月及び混雑時）

令和四年正月を迎えるにあたり、新春初祈禱の事前申込みや郵送申込みの受付、熊手・破魔矢・干支土鈴などの正月授与品の年内授与開始（令和三年十二月初旬より順次）等の対応で、分散参拝による混雑緩和を目指してまいります。

今後の祭事に関しましても、皆さまに安心してご来社いただけますよう、感染拡大状況に応じて都度変更や縮小、制限等対策を取らせていただきます。最新情報は社頭ならびに神社公式ホームページや公式インスタグラムで随時お知らせいたしますので、ご確認の上ご協力くださいますようお願い致します。



▲飛沫防止シートを設置し、マスク・手袋着用にて奉仕する回廊おみくじ所、御守り授与所（令和3年正月）



▲拝殿・崇敬者控え室他社務所内及び回廊臨時授与所等抗ウイルス抗菌コート・キノシールド施工（令和2年12月）



笠間稲荷神社公式ホームページ
<http://www.kasama.or.jp/>



公式インスタグラム
Kasamainari.official



皆さまに安全に御祈祷をお受けいただく為、 以下の感染症予防対策にご理解をお願いいたします

- 体調不良、風邪、発熱症状（37.5度以上）及び下記の症状に該当する方はご来社をご遠慮ください。
【咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐】
- 新型コロナウイルス陽性とされた方との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、ご来社をご遠慮ください。またできる限り**少人数でのご来社**にご理解をお願いいたします。
- 各所に設置の手指消毒液をご利用いただき、控え室、拝殿内では**マスクを着用**し、大声での会話はお控えください。
- 正月三が日、土日祝日、また元旦深夜一番祈祷及び午前10時～午後1時までの御祈祷は例年混み合います。できる限り混雑時間帯を避け、平日のご来社をご検討ください。
- 混雑時間帯は**密集回避のため、ご昇殿をお待ちいただく場合がございます**のでご了承ください。
- 玉串奉奠は斎主のみ**といたします。斎主にあわせてご拝礼ください。
- 祈祷後の御神酒及び直会膳の提供は中止**いたしております。

上記対策は状況によって変更することもございますので皆さまのご協力をお願い申し上げます。

令和四年

正月祈祷のご案内

令和四年の新春初祈祷の事前申込みを受け付けております。郵送をご希望の方は9ページをご覧ください。

お申し込みは**①直接来社 ②インターネット**

③FAXにて承りますので御祈祷希望日の**二日前まで**にお申込みをお済ませください。

ホームページ▶<http://www.kasama.or.jp/>
FAX▶〇二九六七三〇〇〇一一



ホームページ

◆祈祷時間◆

一月 一日 午前〇時～午前五時
午前七時～午後五時
二日、三日 午前八時～午後五時
四日以降 午前八時～午後四時

※一時間ごとに斎行しております
※事前申込み済みの方も祈祷開始の十五分前までにはご来社願います

※当日のお申し込みは、混雑状況により次の祈祷時間までお待ちいただく場合がございますのでご了承ください

◆初穂料◆

五千元・七千元・一万元
二万円・三万円・五万円
十万円・二十万円・五十万円他

◆お願いごと◆

初穂料五千元より

- ・五穀豊穡
- ・家内安全
- ・交通安全
- ・厄除
- ・方位除
- ・心願成就
- ・安産祈願
- ・工事安全
- ・大漁満足
- ・旅行安全
- ・養蚕繁栄
- ・社運隆昌
- ・御礼 他
- ・病氣平癒
- ・開運招福
- ・身体健全
- ・学徳成就
- ・合格祈願
- ・就職祈願
- ・工場安全
- ・海上安全
- ・町内安全
- ・酒造繁栄
- ・講中安全
- ・七五三詣
- ・家内・商売・交通
- ・家内・交通
- ・商売・交通

初穂料七千元より

・初宮詣

東京別社からの お知らせ

鎮座地…中央区日本橋浜町二一十一六

当社東京別社では令和四年正月祈祷の事前申込みを受け付けております。

お申し込みは**①直接来社 ②電話 ③FAX**にて承っております。

電話▶〇三三三六六六七四九八
FAX▶〇三三三六六六七四三八

※事前申込みをされた場合でも、体調の優れない方、発熱症状のある方はご来社をご遠慮ください。ご予約日の変更を承ります。※ご来社の際はマスクの着用、手指消毒液の利用等感染症予防対策にご協力をお願いいたします。※混雑時間帯は密集を避けるため少々お待ちいただく場合がございますのでご了承ください。



お問い合わせ先
☎ 03-3666-7498



令和三年

笠間稲荷神社日誌

赤字：祭典
青字：結婚式
黒字：講中参拝・正式参拝
緑字：行事

◆一月

- 一日 歳旦祭
茨城日産自動車(株)
高梨講
野尻笠間講
八千代講
赤坂講
海上芋苗組合
元始祭
小松稻荷講
(株)サンライフコーポレーション
下野小山須賀笠間稻荷講
五日 新始祭
明誠講
井沼方講
野田市信栄講
根崎解体工事(株)
JR水戸鉄道サービス(株)
昭和天皇祭遙拝式
ALSOK 茨城(株)
ヤマト運輸(株)茨城主管支店
初事比羅祭
穂波会
キャラエーピー(株)

◆二月

- 十四日 尖閣諸島安全祈願祭
十五日 古札炎上祭
(有)秋田土木
初甲子祭
十六日 正徳講
十八日 幸手講
二十二日 御本殿豊奉納奉告祭
堀の内組
二十四日 都賀町講
二十五日 初天神祭
二十六日 野中組稻荷講
東宝珠花上町講
下三ヶ尾笠間講
二十七日 笠間稻荷門前講
二十八日 神宮大麻暦頒布終了奉告祭
二十九日 山高野講
三十日 (株)ナテック
三十一日 麻生笠間講
太木講
一日 弥栄講
二日 節分追儺式
笠間友部街商組合
三日 初午大祭



- 川上実行組合
並木町笠間講
取手市機械工業会
網戸中宿稻荷講
森ノ根稻荷講
船形観光友の会
大山笠間講
七日 北方領土返還祈願祭
野田市蕃昌笠間稻荷講
針供養祭
紀元祭
十一日 旧大祓式
十三日 旧歳旦祭
十四日 祈年祭・初穂講大祭
中峰笠間講
十五日 豊田稻荷講
二十一日 船形笠間稻荷講
二十二日 竹島返還祈願祭
大相模笠間講
二十三日 天長祭
柏市元町稻荷講
二十四日 旭市奉賛会
二十八日 下落合笠間稻荷講



◆三月

- 一日 茨城アストロプラネッツ必勝祈願
- 六日 心和講
- 十一日 東日本大震災復興祈願祭
- 十二日 当社責任役員会・総代会
- 十七日 甲子祭
- 二十日 柳沢胡桃下稻荷講
- 春季皇霊祭遙拝式
- 絵馬炎上祭
- 二十三日 旧初午大祭
- 向町笠間講

◆四月

- 一日 新入職員入社奉告祭
- 新入職員入社式
- 三日 神武天皇祭遙拝式
- 九日 例大祭
- 十一日 東京笠間講
- 十六日 サカイ会祈願会
- 十八日 東京紋三郎講
- 二十二日 東京笠間報恩講
- 二十九日 昭和祭

◆五月

- 十日 御田植祭奉告祭
- 御田植祭
- 十六日 甲子祭



小鹿野笠間講

十七日～十九日 本宮祭

三十日 植樹祭

◆六月

- 六日 長江建材工業(株)
- 東京あづま講
- 十六日 初雁工業(株)笠間稻荷講
- 二十三日 水神講
- 二十六日～二十七日 車の茅の輪くぐり
- 三十日 夏越大祓・茅の輪くぐり奉告祭
- 大祓式



◆七月

- 三日 東京胡桃講
- 四日 東京オリンピック聖火リレー
- 十四日 当社責任役員会・総代会
- 十五日 甲子祭
- 十七日 結婚式 中島家・宮崎家
- 二十日 茨城県神社庁西茨城支部総会

◆八月

- 一日 本社御田植祭
- 事比羅祭
- 末社祭
- 六日～九日 献燈祭
- 七日 旧大祓式



◆九月

- 十日 抜穂祭
- 十三日 甲子祭
- 十九日 結婚式 大作家・生井家
- 二十一日 中秋祭
- 二十三日 秋季皇霊祭遙拝式

自転車置き場設置のご案内

令和三年九月二十日、当社楼門前に自転車置き場を設置いたしました。自転車にてご参拝の方はご利用ください。(駐輪数八台)



※駐輪数には限りがあります。所定の場所以外への駐輪はお控えください。

郵送による御祈禱のご案内

当社では、ご遠方にお住まいの方や諸事情によりご来社が叶わない方、また新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み御祈禱札の郵送を承っております。以下の方法でお申込みください。

詳しくは当社ホームページを
ご覧下さい➡



申込方法①	当社ホームページの御祈禱申込みフォームに必要事項をご入力ください。 その際、祈禱方法は【郵送】をご選択ください。 御祈禱料と送料を現金書留または銀行振込にてご送金ください。 ※申込み完了時に自動返信メールが送信されます。受信制限やメールアドレスの入力間違いにご注意ください。 ※申込み内容に不明な点がある場合、神社より確認のお電話をいたします。
申込方法②	インターネットのご利用が難しい場合は、以下の必要事項を紙に記入し、御祈禱料・送料と共に現金書留に同封し、ご送付ください。 必要事項[お願いごと・お名前(ふりがな)・初穂料・送付先住所・電話番号・生年月日]
送 料	御神札1体 : 600円、同一送付先2~4体 : 1,000円、5体以上 : 1,500円
現金書留送付先	〒309-1611 茨城県笠間市笠間1番地 笠間稲荷神社社務所 宛 TEL0296-73-0001

※銀行振込先口座はホームページをご確認ください。

現金書留到着また銀行振込入金確認後、速やかに御祈禱申し上げ御神札を送付いたします。
なお、令和4年新春初祈禱をお申込の場合は平常時よりも御神札のお届けに時間がかかる場合がございます。
また状況によって御神札の到着日指定のご希望には添えない場合もございますのでご了承ください。



献酒御礼

四月九日の当社例大祭に併せて、献酒祭を斎行いたしました。
本年も県内の酒造家の皆様より御献酒を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。ここに御芳名を記させていただきます。(順不同)

- | | |
|----------------|----------------|
| 「松緑」(株)笹目宗兵衛商店 | 「郷乃誉」須藤本家(株) |
| 「稲里正宗」磯蔵酒造(有) | 「副將軍」明利酒類(株) |
| 「一品」吉久保酒造(株) | 「月の井」(株)月の井酒造店 |
| 「武勇」(株)武勇 | 「府中誉」府中誉(株) |
| 「剛烈」(資)剛烈富永酒造店 | 「家久長」(株)家久長本店 |
| 「久慈の山」根本酒造(株) | 「日の出鶴」(資)井坂酒造店 |
| 「恵泉」嶋崎酒造(株) | 「富久心」(資)椎名酒造店 |
| 「白鹿」石岡酒造(株) | 「白菊」(資)廣瀬商店 |
| 「公明」村井醸造(株) | 「来福」来福酒造(株) |
| 「一人娘」(株)山中酒造店 | 「京の夢」(株)竹村酒造店 |
| 「稲の盛」浅川酒造(株) | 「徳正宗」萩原酒造(株) |

奉納募集

当社では威儀物や祭典に用いられる祭具のご奉納をお受け致しております。
ご奉納頂ける方は笠間稲荷神社社務所までご相談下さい。また、これまでにご奉納頂きましたご崇敬者の皆様に厚く御礼申し上げます。

胡床、舞装束、几帳等多種に亘り受け付けております



「風鈴棚」
有限会社 明治屋 殿

◎奉納者芳名

第一回

胡桃下の 素敵なお店

笠間稲荷神社の周りには古くからご参拝の皆さまに親しまれてきた土産物店や神具店、おせんべいやおまんじゅうを手作りしているお店、地域の生活を支えるお店など多くの素敵なお店があります。

今号より、神社周辺の素敵なお店を神社職員が訪ねて、お店のイチオシを皆さまにご紹介いたします。

第1回目は、神社にいちばん近いお店、仲見世の「**五起屋**」さんと「**丸井**」さんです。

神様のおまつりに必要なもの、美味しいもの、旅の思い出に残るもの、元気が出るもの、心が安らぐもの、どちらのお店にもたくさん並んでいます。ご参拝の折にはぜひお立ち寄りください。



仲見世
まる
井

焼きたてのせんべいは
とっても美味しいよ！
夏には大盛りかき氷、
寒くなったらおでんや
甘酒もあるよ！



1枚ずつ丹念に手焼きされた美味しい稲荷せんべいが名物。定番の醤油やざらめの他種類もたくさん。タイミングが良いと店頭で熱々の焼きたておせんべいも食べられます。店内には土産物も揃っています。

あふれんばかりの
開運縁起物！
とっても明るい店内です。

仲見世
たま
き
屋



縁起物や神具、土産物など何でもあります。

オリジナルのキツネのお面は1つずつ手描きなので全てお顔が違います。近くで見ても気に入りを見つけてください。

(有)仲見世 丸井

〒309-1611 笠間市笠間1272
TEL 0296-72-0356/FAX 0296-72-9070
不定休 9:00~17:00 [Instagram] nakamise.marui
各種クレジットカード、電子マネー、QRコード決済対応しています



(株)仲見世 玉起屋

〒309-1611 笠間市笠間1271
TEL 0296-72-0374/FAX 0296-72-0387
不定休 9:00~17:00
[HP] <http://kasama-tamakiya.com> (ネットショッピング可)
各種クレジットカード、電子マネー、QRコード決済対応しています





神社の三密対策にご協力下さい



混雑する時期

時間帯を

避けましょう

年を越す深夜と、正月三が日の特にお昼に近い時間帯に神社は混雑します。
ご都合の良い平日、または休日なら朝方か夕方の参拝をおススメします。
次の人のことを考えて滞在時間もいつもより短くしたいですね。

新しいお札

御守は早めに

受けましょう

伊勢神宮のお神札である神宮大麻は、毎年年末に全国の神社に届けられます。地域によって若干異なりますが、多くの神社では12月には授与が開始されるようです。年越しに向けて人が増える前にお早めにお受けください。

左右に分かれ

間隔をあけて

並びましょう

参拝の方が多い、特に正月には拝殿の正面にだけ列ができている光景が見受けられます。
神社の正面真ん中にこだわらず、左右に拡がり参拝いただければみんなが密を避けられます。
周囲への思いやりの気持ちをもってご参拝ください。

マスクの着用

こまめな消毒を

お願いします

当社も感染防止の為の対策をとっておりますが、マスクの着用、こまめな消毒、体調のすぐれない方の参拝自粛等皆さん一人ひとりも感染防止の正しい理解と思いやりの気持ちをもった行動をお願いします。

初詣は

三が日・小正月に

こだわらず

初詣とは、簡単に言うと「年が明けて初めて参拝すること」。何日までに行かなければならないという決まりはありません。
特に「密」が予想されるお正月三が日はなるべく避けてご自身の体調と都合のよいときにお参りください。



笠間稲荷神社

社報「胡桃」No.47 令和3年10月発行
発行所／笠間稲荷神社社報編集委員会 茨城県笠間市笠間1番地
電話0296(73)0001(代) FAX0296(73)0002
ホームページ<http://www.kasama.or.jp/> Eメールinfo@kasama.or.jp
編集発行人／塙 東男 本誌の写真、イラストレーション、記事の無断転載を禁じます。

ホームページ



Instagram

